以外からも注目を集めている。

発売記念キャンペ好調

ムラキ

ムラキが今月三十一日まで発売記念キャンペーンを展開する、デジタルサイネージ「MSP－Digital（デジタル）」の好調ぶりが顕著だ。月々レンタル料を税別二万九千八百円（四月一日以降三万九千八百円）にする発売記念キャンペでは当初、全国百台を目標にしていたが、二月中旬の訴求開始から約二週間で目標クリア。一段の受注台数伸長に向け、同社は手応え十分だ。

十台以上まとめて導入する事例もあり、放映コンテンツ制作と「鮮度管理」の仕組みを評価する声が多いようだ。同社がデジタルサイネージ販売でソフト・ハード・販促品をオールインワンパッケージにし、初期投資費用がかからない一年契約のレンタル方式を採用したのも、質の高い放映コンテンツ提供に傾注するため。同社は「サイネージ活用でカギとなる放映コンテンツの中身と鮮度管理について、現場の負担を抑えたいSSニーズと合致した」と話す。

MSPデジタルの基本放映コンテンツはオイル、洗車、車検、バッテリー、タイヤの現在五種類。いずれか三コンテンツを選んで年四回入れ替える（年間十二コンテンツ）。コンテンツは長年SS業界で培ったノウハウを生かして制作し、四・七・十・一月に同社営業マンが全国のサイネージ導入SSを訪問してUSBメディアを差し替え・封印し、シーズンごと最適な内容で放映コンテンツを「鮮度管理」していく仕組みだ。キャンペ導入事例では「非常に手間だったコンテンツ制作がいらず楽」や「基本コースから選ぶだけで定期的に新しいコンテンツが届けられ安心感がある」の声を聞く。

同社は「シーズンごと来店客への訴求力が常に高い、コンテンツの制作と提供を続けていく。年間通じたSSのカーケア収益向上が、デジタルサイネージ提案の目的だ」と強調する。

基本コンテンツ各種

放映イメージ

オリジナルデジタルサイネージ

コンテンツ"鮮度管理"に評価

「エアコンドクター・S Ⅵ」

る効果を発揮する。これによ五台の受注があるなど、滑り出しも上々。理想のスタートを切った。

GSユアサ

AGV用リチウムイオン

上海企業に納入

GSユアサは、上海振華重工が中国上海市の洋

した。同社製港湾リチウムイオン電池を搭載した五十台の港湾AGVは、来年一月から運用が開始される。

今回の受注システムは大容量タイプのリチウムイオン電池「LIM50EN－12」を搭載し、一台の港湾用AGVに千八百セルの蓄電池が使用される。

港湾用AGVは、海上輸送用コンテナを集積するコンテナヤードから、コンテナ船への荷役を行うガントリークレーンの間を無人運転で往復してコンテナ搬送する車両。

5000回充放電の鉛蓄電池

主用途は再生可能エネ

GSユアサが発売

GSユアサは、五千回の充放電が可能なサイクルサービス用の鉛蓄電池「SLR－1000」を発売した。サイクルサービス用蓄電池は、充電と放電を交互に繰り返して使用する蓄電池で、新商品は太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー分野での活用が期待される。

太陽光発電などに使われる蓄電池は、非常用電源に用いられる据え置き鉛蓄電池と異なり、毎日充放電を繰り返す。このため従来品では充電不足などの要因で、鉛蓄電池の交換頻度が高くなるという課題があった。

こうした状況下で発売された新商品は、再生可能エネルギーや電力貯蔵システムなど、充放電を繰り返す用途のために開発された高性能電池だ。

同社は産業用電池のリーディングカンパニーとして、長年培ってきた技術を終結し、従来品対比で二倍以上の寿命特性を備え、頻繁に充放電が繰り返

鉛蓄

新

数十%、

度）

配置

ンテ

特徴

たユ

た

省ス

容量

つ安

新商

主

は太

シス

ナなど幅広い用途に対応。大規模蓄電システムや鉄道車両など産業用途、ロケットや人工衛星の特殊用途など、さまざ

と電

大し

に、

も用

ネ社

タブレットな

特設サイトで

自賠責広報強化

一般社団法人日本損害保険協会は、二〇一五年度自賠責保険広報活動の強化月間を三月三十一日まで展開している。期間中に開設する特設サイトでは、クイズ正解者の中

ット

ゼン

実施

自

と理

付・

の車